

# 教育課題の解決にむかって

## 教育研究の推進

昭和60年度福島県公立幼稚園・小・中・養護学校教職員研修論文の入賞者決定

本年度で十五回目をむかえた本県の公立幼稚園・小・中・養護学校の教職員の研究論文募集は、県内各地の先生方から八十九点の応募がありました。

論文審査は、去る十一月十五日、県庁において開かれ、応募された中から予備審査で十四点選ばれ、一つ一つについて審査委員の先生方の熱心な討議、審査を受けました。

その結果、特選には、次の四名の先生方が入賞されました。

● 特選入賞者

○ 後藤 修教諭 (伊達郡山町立石小養護学校)

「診断と治療をとりいれた音読の指導」

○ 目黒 豊光教諭 (会津若松市立行小養護学校)

「自己学習能力を育てる工夫」

○ 小野 真也教諭 (原町市立石神中学校)

「自己教育力を育成するための指導法の改善」

○ 目黒美智子教諭 (喜多方市立第二小学校)

「いじめの問題の解決を図るために、教育相談を生かした指導の実践」

また、入選として十二点が選定されました。(表2)

本年度、応募があった論文は、教育活動の各領域、各分野等にわたって、意欲的で実証的な論文が多く、着実に研究を積み重ねていることが伺え、今後の教育活動が期待されます。

● 審査委員

蜂谷 剛 (福島大学教育学部教授)

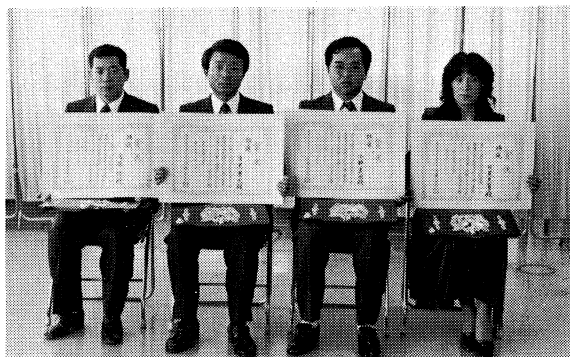
大澤貞一郎 ( )

長谷川寿郎 (郡山女子大学短期大学部教授)

古関 富男 (福島女子短期大学助教)

● 審査の観点

- (一) 研究の意図が明確で、主題は適切なものか。
- (二) 研究の対象が明確であるか。
- (三) 研究の計画及び内容が適切であるか。
- (四) 論旨が一貫しており、説得力があるか。
- (五) 結論の導き方は適切か。
- (六) 今後の実践に生かす手だてを講じているか。



賞状と楯を受けた特選入賞の四氏

表1 各教科、領域別応募数

学校種別	教科領域										計	
	国語	社会	算数・数学	理科	音楽	図工・美術	体育・保健	家庭・技家	外国語	道徳		
幼稚園												
小学校	9	7	18	6		2	5	1		1	2	70
中学校	1	1	2	5	1		2	1	1		3	19
養護学校												
計	10	8	20	11	1	2	7	2	1	1	5	89